

地域で見守る みんなの居場所

こども食堂



こどもを中心とした地域の人たちの居場所として注目されている「こども食堂」。皆様はご存じですか？今号では、猪名川町のこども食堂の取り組み取材してきました。
▽問合せ 町こども家庭センター（☎766・7811）



町こども家庭センター 渡邊 奈緒 所長

地域で子育てをサポート

近年、少子化・核家族化の進行や共働き家庭の増加、地域活動の縮小による地域とのつながりの希薄化など、こどもや子育て家庭を取り巻く社会環境が大きく変化しており、子育てにおける孤立感や不安感に悩まれる方々の増加が社会問題となっております。

このような現状を改善するために、地域の大人たちがこどもや子育てをサポートし、地域全体でお互いに支え合える居場所づくりが必要とされています。

町内でも2か所のこども食堂

町では、地域の皆様により現在2か所のこども食堂が開かれています。それぞれ皆さんが気軽に集まれるように工夫されており、子育て世代だけでなく、多世代が交流できる場となっております。

今後も町内各地域で「こども食堂」という居場所づくりが広がるよう、町としても支援していきたいと考えています。

子育てのお困りごと

気軽ににご相談を！

町こども家庭センターでは、児童福祉と母子保健それぞれの専門性を活かし、一体的な相談支援を受け付けています。妊娠・出産・子育て全般に関する相談など、こどもたちが笑顔で健やかに成長できるよう一緒に考えていきますので、一人で悩まず、気軽ににご相談ください！

こどもの新しい居場所づくりを ～つつじがおか食堂～

つつじがおか食堂は、「こどもの居場所づくり」をコンセプトに、こどもたちがみんなで食卓を囲んだり、遊んだり…そんな場を提供したいという思いでスタートしました。



つつじがおか食堂 代表 長岡 京子さん

また、こどもたちに食べ物大切さを感じてもらうために、地域の方に協力いただき、野菜づくり体験してもらい、自分たちで大切に育てた野菜を使った料理を食べてもらっています。

地域のボランティアスタッフを中心となり運営していますが、野菜やお菓子の寄付など、「こどもたちのために何かしたい」という思いが拡がり、町内外から温かいご支援をいただいています。

こどもひとりでも、保護者の方と一緒に、お気軽に参加してくださいね♪

▶とき 第4土曜日 10:00～
▶ところ つつじが丘自治会館
▶詳細はInstagram



多世代が集う地域交流の場 ～つりど食堂～

私たちは、子育て支援や不登校・ひきこもり支援を行う「tree donut」という団体活動をしています。お弁当を提供して下さる株式会社アイズさんやボランティアスタッフ、民生委員さんなど、町内外のたくさんの方たちの協力を得て、昨年、「つりど食堂」を始めました。



つりど食堂 代表 田中 瑞紀さん

こどもたちが「つりどに行けば楽しいことがある」と思ってもらえるような場所となるよう、毎回レクリエーションを考え、楽しんでもらえるよう工夫しています。家族での参加も大歓迎。保護者同士のつながりなど、様々な「人と人の輪」を広げる場として、興味のある方はぜひのぞきに來てください！

▶とき 第2土曜日 16:00～
▶ところ 白金自治会館
▶詳細はInstagram



編集後記

地域活動が減っていつの間にか、こどもや地域の方々が集う居場所があることはとても大切なことなので、これからも活動が続いてほしいと感じました。もっとたくさんのこどもたちにも参加していただいたり、様々な支援の輪が広がっていくよう、応援していきたいと思えます！



上村 美穂



中津 めぐみ